



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# 日赤みやぎ

発行先/日本赤十字社宮城県支部 発行/平成24年12月

第281号

<http://www.miyagi.jrc.or.jp/>

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 TEL: 022-271-2252 FAX: 022-275-3004

## 宮城県支部創立125周年記念赤十字大会

～東日本大震災からの復興に向けて～



11月15日、日本赤十字社名誉副総裁秋篠宮妃殿下のご臨席のもと、東京エレクトロンホール宮城（仙台市）にて赤十字大会を開催しました。この大会は、当支部が創立125周年を迎えるにあたり、東日本大震災からの復興を祈念し、赤十字事業の推進に貢献された方々を顕彰するとともに、赤十字活動の今後一層の伸展を期して開かれました。

大会には、県内から約1,300名の方が参加し、事業資金の協力やボランティア活動などに功績があった方々へ、秋篠宮妃殿下から有功章が、日赤副社長から感謝状が贈呈されました。妃殿下からは「赤十字の尊い使命を心に持たれ、より一層力強い活動を国の内外において進められるよう願ってやみません。」とのお言葉をいただきました。

また、石巻赤十字看護専門学校の高橋里奈さんと麗人会赤十字奉仕団の大森ゆう子さんが東日本大震災での活動体験を発表しました。高橋さんは震災直後の避難所での看護経験に触れ、看護には患者さんに寄り添う心が大切であると述べました。大森さんは被災地で、肩や背中をさする「ほっとケア」をしながら被災者の話を傾聴する活動から、人の心を優しく包む手のぬくもりの素晴らしさを発表しました。

式典に引き続き、世界的に活躍されているピアニスト、辻井伸行さんによる特別コンサートが行われました。クラシックの名曲のほか、震災後に自身が作曲した「それでも生きていく」などを演奏。美しく力強い辻井さんの演奏に、会場全体が息をのんで聞き入りました。辻井さんは演奏後、「震災後、何ができるかすごく考えました。今日は被災者の方に諦めないでほしい、音楽で笑顔になって欲しいという気持ちで演奏しました。」と語りました。

## 大規模防災訓練に参加

～震災の経験を生かし、災害に備えるために～

11月3日、気仙沼市立階上小学校をメイン会場に宮城県と気仙沼市による大規模な津波総合防災訓練が開催され、宮城県支部と仙台・石巻両赤十字病院が参加しました。

三陸沖を震源とするM9.0の地震が発生し、沿岸部に10メートル以上の大津波警報が発令され、多くの死傷者が発生したとの想定。日赤は傷病者を素早く救護するため、メイン会場で救護所の設置と傷病者の受け入れ訓練を行いました。救護所では一人でも多くの命を救うため、治療の優先順位を決める「トリアージ」を実施。重篤な傷病者は、消防との連携により医療機関へ搬送しました。また、離島からヘリコプターで救出された傷病者の受け入れ訓練を石巻赤十字病院で実施しました。



傷病者の受け入れ訓練（石巻赤十字病院）

石巻赤十字病院では同日、病院の大規模地震災害実働訓練を実施。職員や関係機関など総勢500名の参加者のうち、約100名を患者役とした大規模な受け入れ訓練となりました。また、民間企業とも連携して情報伝達・物資搬入訓練を実施し、より実際に近い状況を再現して連携体制を再確認しました。

この訓練の大きな目的のひとつに、新たな災害対策マニュアルの検証があります。東日本大震災の経験をうけ、院内の各部門や関係機関との意見交換を重ね、震災時に機能しなかった部分やマニュアルに記載がないが独自に工夫していたことなどの情報を収集。来院者を治療、家族の安否確認、薬の処方など目的別に振り分ける「プレトリアージ」などの新設部門を立ち上げました。訓練を通して明らかになった問題点や改善点を今後さらにマニュアルに反映させていきます。

また、今回は震災後初の訓練ということもあり、参加者に心理的ストレスがかからないよう配慮。臨床心理士が常駐するリラックスマームを開設するとともに、訓練中も心理士が巡回し参加者のメンタルケアを行いました。

今後も訓練を通して、関係機関との連携や職員のスキルアップに全力で取り組みます。

## 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会

～地域での充実した活動のために～

地域における奉仕活動をより一層充実したものにするため、リーダー的立場の奉仕団員を対象に研修会を開催しました。研修会は9月にバレス松洲（松島町）にて地域ごとに2回に分けて開催され、91名の団員が参加しました。まず赤十字の理念など基礎的知識について再確認するための講義を実施。その後、「赤十字活動を住民に広く知ってもらうために」をテーマにグループワークを行いました。参加者からは「赤十字の理念を改めて確認できた。地域の方に活動を知ってもらい、より活発な活動をしたい。」との感想が寄せられました。



各奉仕団が抱える共通の課題とその解決策について活発に話し合われました。

## 石巻赤十字看護専門学校 第83回生 戴帽式挙行

～看護の心を受け継ぎ決意を新たに～



看護の灯火を受け継ぎ、決意を新たにした学生たち

11月1日、4月に入学した第83回生の「戴帽式」を挙行了しました。この式は、1年生が看護の学びをすすめていくなかで、あらためて看護の道を選び進んでいくという志を確認する区切りの儀式です。学生たちは看護の象徴であるナースキャップを戴き、看護の心を受け継ぐために手にしたろうソクに灯火をともしました。病院敷地内の仮校舎という環境で、看護の道を歩みはじめた第83回生・戴帽生40名(うち男子3名)は気持ちを新たに、看護師としての知識・技術・倫理をさらに深く学んでいきます。

## 第4回ポストカード・コンクール・入賞作品決定!

～思いやりやたすけあいの気持ちをポストカードに込めて～

赤十字思想誕生150周年を記念した、赤十字のイメージ画を募るポストカードコンクールを開催して今回で4回目となります。今回は県内外から340作品ものご応募をいただき、11月1日に開催した審査会で入賞作品が決定しました。

応募いただいた作品を多くの方にご覧いただくため、全応募作品の展示と入賞者への表彰式を下記のとおり行います。ぜひ鑑賞にお越しく下さい。

### 作品展示

平成24年12月1日(土)から  
7日(金)正午まで

イオンタウン仙台泉大沢  
1階専門店南側セントラルコート  
(ライトオン前)

### 表彰式

平成24年12月1日(土)  
午前11時から

※入賞作品は宮城県支部

ホームページにも掲載しております。

<http://www.miyagi.jrc.or.jp/event/postcard.html>



最優秀作品 仙台市立七北田小学校 6年 園部愛奈さん

## かがやき学級での終業式・始業式

～新学期の目標に向かって～

仙台赤十字病院内の仙台市立八木山小学校の院内学級「かがやき学級」で、10月5日に終業式、11日に始業式が行われました。

終業式では、子どもたちが1学期に頑張ったことを、始業式では2学期に頑張りたいことを発表しました。

「かがやき学級」で新しい学期を迎えた子どもたちが、退院してからも、かがやいた学校生活を送れることを願います。



今日から新学期！

## 献血セミナー「けんけつHOP STEP JUMP」

～献血について学習しよう！～

将来、輸血医療を支えていただく若年層の方々に、献血の必要性を知り、ご協力をいただくための取り組みとして、高等学校や専門学校、大学などで献血セミナーを実施しています。

10月29日、仙台高等専門学校広瀬キャンパスにおいて、3年生を対象にセミナーを実施しました。セミナーを聴く学生の姿勢は真剣そのもので、今後の輸血医療を支えてくれるのは彼らであると確信した瞬間でした。



真剣に聴く学生

## 第36回 日本血液事業学会総会開催

～「血液事業の再構築—震災を乗り越えて—」～

「血液事業の再構築—震災を乗り越えて—」をテーマに、10月17日から19日までの日程で仙台国際センターを会場に盛大に第36回日本血液事業学会総会が開催されました。

東日本大震災から1年7カ月経過し、震災後東北での開催は初めてという事もあって、多くの方々が各会場に来場し、活発な討論が行われました。

第2日目の夕方、仙台国際ホテルで行われた会員交見会には、伊達武将隊の参加や東北6県からの地酒コーナーの特別出店もあり、会場は大いに盛り上がりました。



伊達武将隊が飛び入り参加

✉ メールマガジンの登録受付中！ ✉



メールマガジンで、日赤のさまざまな活動やイベント案内、お役立ち情報などをお届けしています。また、オフィシャルメッセンジャーであるAKB48の特設サイトでは、スペシャルコンテンツを随時更新。ぜひご登録ください！

<http://www.jrc-akb48.jp>